

17-59

2017年6月12日

線路内転落・列車接触事故防止を目的とした 「注意喚起シート」を追加設置します 2017年12月末までに5路線34駅に追加

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、ホーム上での線路内転落・列車接触事故防止を目的とした「注意喚起シート（スレッドライン）」を2017年12月末までに5路線34駅に追加設置し、ホーム上のさらなる安全性向上を目指します。

「注意喚起シート」は、赤と白の縞模様のシートで、このシートをホーム上の白線からホーム縁端部まで貼り付けることにより、お客様の列車への接触、接近、ドア挟み、線路内転落等の事故防止及び駅係員や乗務員のホーム監視業務の視認性向上を図っています。

東京メトロでは、お客様のご利用状況やホーム形状などを踏まえ、これまで41駅に注意喚起シートの設置を完了していますが、お身体の不自由なお客様のご利用状況や更なる安全性・視認性確保の観点から、新たに5路線34駅に追加設置することといたしました。追加設置完了後の設置合計駅数は、5路線70駅となります。

これからも様々な安全対策に取り組み、お客様に安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

詳細は別紙のとおりです。



「注意喚起シート」設置状況（日比谷線仲御徒町駅）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、ときわクラブ、都庁記者クラブ、レジャー記者クラブにお届けしております。

この件についてのお問い合わせ先

東京メトロ 広報部広報課 阪本、石川 電話：03-3837-8277（携帯：080-1247-0114）
安全・技術部 前園、津ヶ原

線路内転落・列車接触事故防止を目的とした「注意喚起シート」追加設置概要

- 1 設置時期（予定）
2017年7月上旬～12月末まで

2 設置予定駅（5路線34駅）

路線	駅名
銀座線	新橋、虎ノ門、渋谷
日比谷線	三ノ輪（北千住方面行）、入谷、上野、茅場町 霞ヶ関（中目黒方面行）、六本木、恵比寿（中目黒方面行）
東西線	落合、神楽坂、飯田橋、大手町、日本橋、茅場町、東陽町、南砂町 西船橋
千代田線	綾瀬（2・3・4番）、北千住、新御茶ノ水、大手町、霞ヶ関 乃木坂、表参道、明治神宮前〈原宿〉
半蔵門線	永田町、半蔵門、大手町、三越前、清澄白河、錦糸町（押上方面行） 押上〈スカイツリー前〉

【参考】設置完了駅（4路線41駅）

路線	駅名（ホーム）
日比谷線	南千住、三ノ輪（中目黒方面行）、仲御徒町、秋葉原、小伝馬町 人形町、八丁堀、築地、東銀座、銀座、日比谷 霞ヶ関（北千住方面行）、神谷町、広尾、恵比寿（北千住方面行）
東西線	高田馬場、早稲田、九段下、竹橋、門前仲町、木場、西葛西、葛西 浦安、南行徳、行徳、妙典、原木中山
千代田線	綾瀬（1番）、町屋、西日暮里、千駄木、根津、湯島、日比谷
半蔵門線	表参道、九段下、神保町、水天宮前、住吉、錦糸町（渋谷方面行）